




# シスプラチン+タキソテールの治療をお受けになる方へ

## ★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。( )内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2～21日目
吐き気止め	 15分	お休み
タキソテール (ドセタキセル) mg	 60分	お休み
シスプラチン (シスプラチン) mg	 60分	お休み

※アルコールが含まれているため、アルコールに弱い方は、お酒を飲んだ時のように顔が赤くなったり、脈が速くなったり、気分が悪くなることがあります。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

### 〈血液検査からわかる副作用〉

#### 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、

治療開始後7～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

#### 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。

場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

#### 血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。

血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

#### 腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、

お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。

⇒500mLのペットボトル、2本ぐらいを目安に水分をとりましょう。

## 〈ご自身でわかる副作用〉

### 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。

ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

### 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。

ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

### 脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。

治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

### 末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

### 浮腫

顔や手足がむくむことがあります。次第に良くなることもありますが、症状が辛い場合や痛みを伴う場合は、主治医に相談して下さい。

### 口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。

痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

### 聴覚障害

シスプラチンを繰り返し点滴することにより、高い音が聞き取りづらくなったり、耳鳴りすることがあります。

⇒治療前に比べ、人の話し声が聞き取りにくく感じる時は、主治医に申し出て下さい。

### しゃっくり

しゃっくりがでることがあります。

⇒長く続く場合は、しゃっくりを抑えるためにお薬を使うこともあります。

### 血管外漏出（壊死性）

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。すぐに適切な処置をしなければ、潰瘍ができたり、ひどい場合には皮膚が壊死してしまうこともあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、ただちに医師・看護師にお知らせください。外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。ご自宅に帰られた後も、点滴部周辺に違和感を感じたり、症状が軽快しない場合は病院にご連絡ください。

## ★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「尿量が少なくなる」、「ほとんど尿が出ない」、「一時的に尿量が多くなる」、「むくみ」、「体がだるい」（急性腎不全）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（感染症）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。



担当薬剤師